

事業所名		それいゆ・すてっぴ（児童発達支援）				支援プログラム		作成日		令和7	年	3	月	1	日
法人（事業所）理念		子どもたちが社会性と自分の可能性を伸ばし、自信を持って社会で活躍できるように支援する。													
支援方針		よりよい発達を目指して、身辺自立や運動・認知・コミュニケーションなど、それぞれお子さまの適正に合った目標をご家族と共に考えながら支援を行う。													
営業時間			8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無		あり（なし）		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・食事の道具の使い方やマナー、排泄、着脱、身だしなみに気をつけるなど身辺自立を目指す。 ・構造化された環境の中で、次の活動の見通しを持ち自分から行動をする。													
	運動・感覚	・活動に参加する中で、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の習得を目指す。 ・制作活動を通して、ハサミやのり、テープ等の道具の使い方を身に付けられるよう支援をする。													
	認知・行動	・日付や天気を確認し、数や曜日等の認識の形成をする。 ・季節の変化への興味など感性形成を構築するため、外出や季節の行事を行う。													
	言語 コミュニケーション	・相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援を行う。 ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する。													
	人間関係 社会性	・感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけることができるよう支援をする。 ・小集団でルールのあるゲームに参加することで、適切な社会性を身につける。													
家族支援		・連絡帳で日々の情報を共有する。 ・家族からの相談や困りごとに対して、面談の機会を設けたり関係機関と連携をしてサポートをする。 ・保護者交流会（年3回）、保護者学習会（年2回）の開催。							移行支援		幼稚園・保育園等への移行支援、就学に向けた小学校への情報提供、幼稚園・保育園等との情報共有等の連携、放課後等デイサービスへの繋ぎ。				
地域支援・地域連携		・各会議に参加し、関係機関との連携や情報収集を図る。 ・地域資源を活かして、遊びや体験の機会を作る。							職員の質の向上		各部署ごとでの職員研修の実施。 定期的な職員ミーティングの実施。				
主な行事等		避難訓練、課外活動、収穫祭、クリスマス会・節分等の季節行事、終了式、親子療育													